

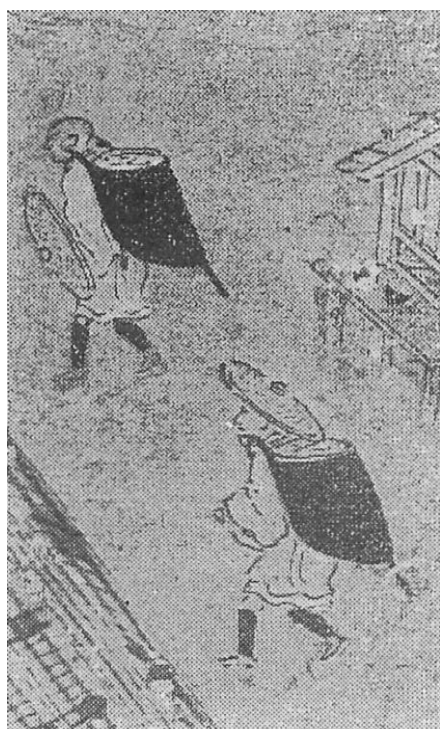
# 高野七口學

## 珈琲 (Cafe)

「高野七口学」題字 弘法大師空海 筆 「鬻替指帰」より 高野七口再生保存会

# 高野山及び山麓の信仰的 多様性を考える

講師：宮本 佳典 橋本市文化財保護審議会委員長



古代に霊場高野山を考えると、修行の場であり、女人禁制や骨のぼせの習俗について考えねばならない。

山麓の人々にとって死者の霊魂の行く山（詣り墓）であったことから高野浄土となり、中世には高野聖らによって日本総菩提所まで高野山信仰は広がり、「念仏の山」といわれるようになる。

しかし。念仏は高野山で六斎念仏として再生され、近世の真言帰入によって現代の高野山へと変化した。

この度は、高野山及び山麓の信仰的多様性を考えます。

洛中洛外図（上杉本）に  
みられる高野聖

日時：11月1日(土) 受付 午後2時～ 講演 2時30分～3時40分

対象：会員及び一般

場所：橋本市保健福祉センター栄養指導室（洋室）橋本市東家一丁目3-1

申込：不要

協力金：200円（資料代等）

問合せ：08014340985（高野七口再生保存会事務局）

皆様のご参加をお待ちしています。